

農山漁村地域整備計画における事後評価

1 計画の概要

計画の名称	安全で快適で元気な”青森の漁村”づくり計画
計画策定主体	青森県
対象市町村	鱈ヶ沢町、むつ市、深浦町、平内町、東通村、外ヶ浜町
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）
計画の目標	排水処理施設等の整備により漁村の快適性を向上させるとともに、海岸保全施設により波浪から漁村を守り、安全で快適な漁村づくりを進め、波及的な効果として期待される水質浄化や藻場の増大による良質な磯場環境の創造により、漁業者が元気に働ける漁村づくりを目指す。 また、漁港の外郭施設、係留施設等の整備を行い、安全で効率的な水産物供給体制をつくり、漁村地域の再生を目指す。
評価指標	指標の内容
	北金ヶ沢、清水川地区及び小田野沢地区において、生活雑排水を漁業集落排水処理場で処理し、BOD 20mg/L以下で放流することにより、水質の改善を図る。 潜堤、人工リーフ等の海岸保全施設を整備し、防護面積15.0haを確保する。 海岸保全施設の老朽化対策を行い、防護面積1.3haを確保する。 外郭施設、係留施設等の整備により陸揚作業の効率化を行い、作業時間を半分以下に短縮する。

2 交付対象事業の進捗状況

対象事業								
事業名	事業型	地区名	事業実施主体	関係市町村	計画期間内の事業内容	工期	計画期間内の総事業費(千円)	進捗状況
効果促進事業		鱈ヶ沢	青森県	鱈ヶ沢町	避難誘導表示板設置等	H24	3,000	事業完了
海岸保全施設整備事業	高潮対策	大畑	青森県	むつ市	人工リーフ L=620.0m 離岸堤 L=191.8m	H22～H26	1,313,526	平成29年度まで 事業継続
海岸保全施設整備事業	海岸堤防等老朽化対策	蛎崎	青森県	むつ市	護岸補強工 N=1.0式	H23～H24	46,050	事業完了
漁港漁村環境整備事業	漁業集落環境整備事業	北金ヶ沢	深浦町	深浦町	水産飲雑用水施設 N=1.0式 集落排水施設 N=1.0式	H22～H26	946,138	平成29年度まで 事業継続
漁港漁村環境整備事業	漁業集落環境整備事業	清水川	平内町	平内町	集落排水施設 N=1.0式	H22～H26	678,000	平成29年度まで 事業継続
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	岩屋	東通村	東通村	北防波堤(改良)L=246.0m -3.0m岸壁(新設)L=195.0m ほか	H22～H25	593,749	事業完了
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	番所	平内町	平内町	外郭施設L=271.9m 係留施設L=160.0m ほか	H22～H26	653,138	事業完了
小計							4,644,555	
関連事業								
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	宇鉄	外ヶ浜町	外ヶ浜町	外郭施設L=144.6m 漁港施設用地A=3,065m ² ほか	H22～H24	143,500	事業完了
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	小田野沢	東通村	東通村	集落排水施設 N=1.0式	H22～H24	573,550	事業完了
小計							717,050	
合計							5,361,605	

3 事業効果の発現状況

対象事業
<ul style="list-style-type: none"> ・鱈ヶ沢・大畑地区は、潜堤等を整備したことで、防護面積13.9haを確保した。また、鱈ヶ沢地区において、避難誘導表示板を設置したことで、災害時における避難活動の迅速化が図られた。 ・蛎崎地区は、老朽化対策として護岸を補強したことで、防護面積1.3haを確保した。 ・清水川地区は、集落排水施設を整備したことで平成27年度から一部が供用開始となり、水質の改善が図られた。 ・岩屋地区及び番所地区は、外郭施設、係留施設等を整備したことで、陸揚作業が効率化された。
関連事業
<ul style="list-style-type: none"> ・宇鉄地区は、外郭施設、漁港施設用地等を整備したことで、陸揚作業が効率化された。 ・小田野沢地区は、集落排水施設を整備したことで、生活雑排水を漁業集落排水処理場で処理し、BOD20mg/L以下で放流することにより、水質の改善が図られた。

4 整備計画期間内における定量的指標の実現状況

成果目標	目標値	実績値	達成率
生活雑排水を漁業集落排水処理場で処理し、水質改善するためのBODの計画放流水質以下の放流。(小田野沢地区)	20.0mg/L	3.5mg/L	100%
潜堤、人工リーフ等の海岸保全施設整備後、防護面積の確保。	15.0ha	13.9ha	93%
海岸保全施設の老朽化対策を行い、防護面積の確保。	1.3ha	1.3ha	100%
外郭施設、係留施設等の整備により陸揚作業の効率化を行い、作業時間を半分以下に短縮。(66分を33分に短縮)	33分	23分	100%
整備計画期間内における定量的指標の目標に対する実績は、概ね達成したものと評価できる。 整備計画期間内に整備が終了しなかった地区については、次期計画において継続して整備を行い、目標達成を目指す。			

5 今後の方針

整備が終了した地区については、適正な維持管理の実施により、事業効果の継続的な発現を図る。
大畑地区、北金ヶ沢地区及び清水川地区については、本計画の期間終了後も事業を継続することから、平成27年度以降に整備を予定している人工リーフ及び集落排水施設の整備について、次計画に位置づけ整備を進めていく。

6 第三者の意見

当該整備計画期間中の事業実績から、海岸保全施設整備及び漁港漁村環境整備に関する定量的かつ定性的な成果が認められる。本県の水産業は、沿海市町村における基幹産業であり、安全で快適で元気な“青森の漁村”づくりのため、今後とも継続的に交付金事業を活用し、海岸保全施設や漁港漁村環境を整備していくことが望まれる。このため、事業継続となる地区については、整備予算を確保し、次期整備計画において目標を達成してほしい。
整備計画に基づいて整備された施設が真に活用されなければならず、事業実施主体は、供用後も所期の効果を継続するよう、関係機関と連携して適正に維持管理してほしい。